

外科(必須)臨床研修プログラム

外科臨床プログラム

研修プログラムの目標と特徴

卒後初期臨床研修の一環としての2年間のうちの2ヶ月の外科臨床研修プログラムである。希望者は、さらに2年間の外科臨床研修を行うことにより、日本外科学会認定外科専門医制度の外科専門医試験を受けることができる。本プログラムの特徴は、将来外科系を希望する医師はもちろん、内科系を希望する医師にとっても必要な一般外科、救急、プライマリーケアに必須の基礎的知識と技能を修得するとともに、医の倫理に基づいた適切な態度と習慣を身につける点にある。実際には、座学としてではなく、実地臨床症例を教師とし、体験から自己学習を促進する。外科指導医のチームにより、随時指導を受ける。

必須項目(基本的手技)

基本的手技の適応を決定し、実施するために、

- ① 気道確保を実施できる。
- ② 人工呼吸を実施できる。(バッグマスクによる徒手喚起を含む)
- ③ 心マッサージを実施できる。
- ④ 圧迫止血法を実施できる。
- ⑤ 包帯法を実施できる。
- ⑥ 注射法(皮内、皮下、筋肉、点滴、静脈確保、中心静脈確保)
- ⑦ 採血法(静脈血、動脈血)を実施できる。
- ⑧ 穿刺法(腰椎、腹腔、胸腔)実施できる。
- ⑨ 導尿法を実施できる。
- ⑩ ドレーン・チューブ類の管理ができる。
- ⑪ 胃管の挿入と管理ができる。
- ⑫ 局所麻酔法を実施できる。
- ⑬ 創部消毒とガーゼ交換ができる。
- ⑭ 簡単な切開・排膿を実施できる。
- ⑮ 皮膚縫合法を実施できる。
- ⑯ 軽度の外傷・熱傷の処置を実施できる。
- ⑰ 気管挿管を実施できる。
- ⑱ 除細動を実施できる。

(ア) 外科(必須)臨床研修プログラム指導医

指導責任者: 池田 陽一
消化器外科: 足立 英輔
金城 直
大垣 吉平
乳腺外科: 寺本 成一
呼吸器外科: 斉藤 元吉
緩和ケア: 中村 俊彦

(イ) 期間

2ヶ月間

(ウ) 外科(必須)プログラム内容

- ① プログラム目標:別紙
- ② 週間スケジュール

時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
8:00~8:25		抄読会	救急カンファ	肝胆膵カンファ	部長病棟回診	
8:25~8:45	術後カンファ	術後カンファ	術後カンファ	術後カンファ	術後カンファ	
8:45~9:15	包交回診	包交回診	包交回診	包交回診	包交回診	
午前	手 術	手 術	手 術	手 術	手 術	* ICLS
午後	手 術	手 術	手 術	手 術	総合回診	
17:00~18:00				術前カンファ	救急症例検討会第 1,3 週	

(エ) 評価

EPOC および当院独自の評価法を加える。